

大会規約

1. 岡山市スポーツ少年団並びに岡山地区学童軟式野球協議会主催の大会は、大会規約に特別に規定した項目以外は各年の公認野球規則、全日本軟式野球連盟競技者必携の学童の部を適用する。
2. ゲームは6回戦とし、得点差(3回終了以降10点差、5回終了以降7点差)によるコールドゲームを適用する。
3. 90分の時間制限を設ける。85分を超えて新しいイニングに入らない。
4回に満たなくても正式試合とする。
ただし、降雨、日没等によるコールドゲームは4回終了をもって正式試合とする。
それに満たない場合は特別継続試合とする。その場合、試合会場と審判員は変更となる場合がある。
4. 6回終了又は90分経過して同点の場合は、タイブレーク(無死1塁、2塁・継続打順)を1イニング行う。
それでも勝敗が決しない場合は、試合終了時の両チーム最終の出場選手9人による抽選で勝敗を決する。
但し、決勝戦はタイブレークなしで決着が着くまで行うことがある。
5. ダブルヘッダーの第2試合は、第1試合終了30分後に開始する。
6. 時間計測は、球審のプレイボールからとし、球審が計測を委託した者による。
7. ベンチは、抽選番号の若番を一塁とする。
8. ベンチに入れる人数は、登録選手20名、監督1名、コーチ2名、スコアラー、責任者、認定指導員、マネージャー各1名と熱中症対策要員(女性)1名の計28名の範囲内とする。
熱中症対策要員の時期は別途指示を行う。監督・コーチ以外のベンチ入要員の服装は、チーム帽子、運動靴、長ズボンとする。
9. 投手一人の投球数制限は、1日70球(※4年生以下は60球)以内とする。
試合中に70球(※60球)に到達した場合は、対する打者が打撃を完了するまで投球できる。
ボークにかかわらず「投球」したものは、投球数に数える。※牽制球や送球とみなすものは、投球数としない。
投球数に関しては、本部計測が実球数となり異議申立ては一切受け付けない。
10. ベースコーチ等のジャンパーの着用については野球規則 3.03(c)【注】を参照
【注】各プレイヤーはコートを着て競技に携わることはできない。
ただし、ベースコーチと走者となった投手を除く。
11. 本大会の使用球は公認球J号とし、主催者が準備をする。
12. 審判の服装については別紙参照。
13. 審判服の規定違反が見つかったチームは、ペナルティーとしてその大会もしくは次の大会の監督ベンチ入りを禁止する。
14. 審判員の裁定が規則の適用を誤って下された疑いがある場合に限り、監督と当該選手だけが抗議できる。それ以外は一切認めない。
15. 試合開始予定時刻の60分前までには、試合会場に集合の事。
16. 用具はJ.S.B.Bマークの入った公認の物を使用する事。それ以外の物は使用不可。
17. 服装については、チーム内統一のものを着用する事。
18. 試合態度の厳正を期すること。監督、コーチの罵声も厳しく対応する。
19. ベンチ内での携帯電話、携帯マイク、カメラの使用を禁止する。メガホンは1個に限り、使用を認める。
20. ベンチ入りの選手及び大人のサングラスの着用を禁止する。矯正用のメガネの色付きレンズの場合は、試合前に大会本部に許可を得て使用する。選手の場合で、特別の事情がある場合も同様とする。
21. 試合中は、ネックウォーマー、レッグウォーマーの着用を禁止する。
22. 試合のスピード化を図るため、プレイヤーが負傷などで治療が長引く場合は相手チームに伝え、試合に出ている9人の中から代走(打順の前位の者、ただし投手及び捕手は除く)を認めて試合を進行する。
23. その他、監督会議で決められた事項は、必ず全選手に周知徹底する事。
24. 健康上の都合により、1日の試合数は2試合までとする。別団体の試合も含む。